

事業継続計画(BCP)

新型コロナウイルス対策編【Ver1.1】

令和2年8月5日改訂

(株)スリーコムズ

注・・・前バージョンとの変更点は赤字で表記しています。
常に最新版をHPで公開しています。

目次¥

1. BCPとは？代表からのメッセージ
2. 予防（感染予防策）フェーズ1
3. 発生（感染者発生対策）
 - ① フェーズ2 感染が疑われる職員・利用者が発生した場合
 - ② フェーズ3 職員、利用者に感染者が発生した場合
4. 回復（日常への回復） フェーズ4
5. 初動対応フロー

1 BCPとは？

自然災害や、事件、テロといった緊急事態が起きた際、事業への被害を最小限に食い止め、中核事業を継続させて、いち早く事業全体を回復させるために、平常時や緊急時における様々な対策や方法をまとめた計画のこと。Business Continuity Plan の略。令和 2 年 5 月現在、大企業の 29%、中小企業の 12%が作成しています。

代表からのメッセージ

感染者が出ないことに越したことはありません！私も手を合せて祈る気持ちです。しかし、今までの状況から考えて、このウィルスを 100%完全に防ぐことはできないと考えています。高度な設備を有した大きな病院ですらクラスターを発生させています。まず、利用者に感染させない為に、我々職員が感染しないようにすることが大前提です。そして感染者が発生した場合、**被害を最小限に食い止める**ために、一刻も早く対策を実施することができるよう、この BCP を作成しました。現場の状況に即して対応策を具体的にまとめてあります。コロナによる死亡者の半数が病院・高齢者施設の入居者です。命がかかっています！職員全員が真剣に読んでください。

更に、この BCP を利用して、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症にも応用させてください。

追伸・・・我社の BCP は当局に提出する目的よりも 現場で実践できることを目指して作成しました。現場からの提案により随時改訂をすることを前提としている為、PowerPoint ではなく Word にて作成しています。文字ばかりで読みづらいことをお詫び致します。

2 予防（感染予防策）フェーズ1

- ① 職員全員が**感染予防（マスク・手洗い・換気・リスク回避行動）**を徹底する。特にプライベートでも換気が悪く人が密集している場所を避ける行動が求められる。
- ② 家族にも自身の仕事を理解してもらい出来る限りの協力をお願いする。
- ③ 職員全員、施設内ではマスクを着用する。入居者様ひとりひとり一定の距離がとれるよう工夫する。
- ④ 利用者でも可能な方は積極的にマスクを着用してもらう。
- ⑤ 施設の入口に消毒液を置き、施設に入る時は職員全員が手指消毒を行う。
- ⑥ 職員は毎日検温を行い、入社時に体温を記録する。
- ⑦ 熱、又は風邪の症状があれば休みとし上司へ報告、指示を受けること。
- ⑧ 定時にテーブル・手摺(てすり)・ドアノブ・スイッチなど、多くの人が触れる箇所は消毒し、管理表を作成し記録する。
- ⑨ 原則として施設内は、訪問者は立入禁止とする。親族の面会は、市中の感染状況をみて事務所やオンライン面会に切り替える。
 (ア) せせらぎは、現在、面会は事務所にて、感染防御をし、15分間
 (イ) S西野は、現在、面会はエントランスの面談所にて、感染防御をし、15分間
- ⑩ 不要不急な会議・研修・出張は中止・延期とする。オンライン会議を利用する。
- ⑪ 職員同士の飲食時にも距離をとる。職場外での飲食もしばらくあきらめる。
- ⑫ 喫煙室でも1人で喫煙。
- ⑬ 職員・利用者共にストレスを貯めないよう、心身ともに健康に留意する。
- ⑭ P P E（Personal Protect Equipment）は全員が使えるよう訓練する。別資料
- ⑮ 風邪やインフルエンザと症状が似ているので、変調をいち早く察知する。息切れ、発熱、咳がポイントか？
- ⑯ 現状では何が正解か分からないことばかりですが、「**出来ることは何でもする！**」という気概で新型コロナウイルスに挑みましょう！

	COVID-19	インフルエンザ	風邪	アレルギー
咳	◎	◎	△	○
発熱	◎	◎	□	○
息切れ	◎	×	×	○
体の痛み	○	◎	◎	×
頭痛	○	◎	□	○
疲労感	○	◎	○	○
喉痛	○	○	◎	×
下痢	△	○	×	×
鼻水	□	○	◎	◎
くしゃみ	□	×	◎	◎
涙目	×	×	×	◎

3 発生（感染者発生対策）

- ① フェーズ2 感染が疑われる職員・利用者が発生した場合
 息苦しさ、発熱、咳、倦怠感、のどの痛み、味覚臭覚異常、もしくは軽い風邪症状が続く場合、いつもと様子が違う等

・コロナ対策始動

職員	自宅待機のまま、上司に報告し、「コロナ相談窓口⑦or⑧」に連絡し、医療機関受診へ
利用者	自部屋での隔離とし、担当医師（平井 Dr）へ相談し、PCR検査へ。 可能な限り、その方の介護にあたっては、専任担当を決める。要換気。

・対策本部設置

- ・ユニットの職員はPPEを着用。
- ・ゾーニングと職員の動線整理（ほのか職員は非常階段より出入り） ←入口の鍵を変更する
 - 陽性者発生ユニット →レッドゾーン
 - PPE着脱場所・他ユニット →イエローゾーン
 - 事務所 →グリーンゾーン
- ・疑感染者の濃厚接触者を抽出 → 一覧にして当局へ提出
- ・全職員・全利用者の症状のヒアリング → 一覧にして当局へ提出
- ・感染環境の封鎖と職員による消毒 → **感染拡大を1ユニットで食い止める**、消毒は管理表の箇所
- ・

⑦帰国者・接触者相談センター # 7119 or 011-272-7119（24時間受付）

⑧札幌市新型コロナウイルス一般電話相談窓口：011-632-4567（受付時間 毎日9時00分～21時00分）

⑨新型コロナウイルスに係る厚生労働省電話相談窓口：0120-565653（受付時間 9時00分～21時00分）

② フェーズ3 職員、利用者に感染者が発生した場合

・札幌市保健福祉局介護保険課（事業指導担当）011-211-2972 に連絡・相談指示を受ける。

濃厚接触者リストの提出

全職員・全利用者の症状リスト提出

職員・利用者の名簿リストの提出

全職員・全入居者のPCR検査を強く要望

・札幌保育園に連絡 011-783-7711

・消毒作業（可能性のある個所全て）

・委託業者へ連絡（食材、薬、訪問看護）

・PPE3日分の在庫の確認、不足分発注

	PPE必要数		1人1日必要数	3日間全体での必要数	BL入数	発注単位
1	サージカルマスク	使い捨て	1	45	50	1
2	マスク(入居者用)	使い捨て	2	90	50	2
3	N95マスク	使い捨て	1	45	50	1
4	長袖ガウン	使い捨て	1	45	10	5
5	グローブ	使い捨て	15	675	100	7
6	サージカルキャップ	使い捨て	1	45	100	1
7	手指用アルコール2ℓ	****	1	3	1	3
8	フェイスシールド	繰り返し使用	人数分			

・濃厚接触者（職員）→約14日間の自宅待機。

・濃厚接触者（利用者）→PCR陽性者は、医療機関へ入院。陰性者は施設待機。

・感染により職員が不足した場合、市へ介護職員の応援要請をする。

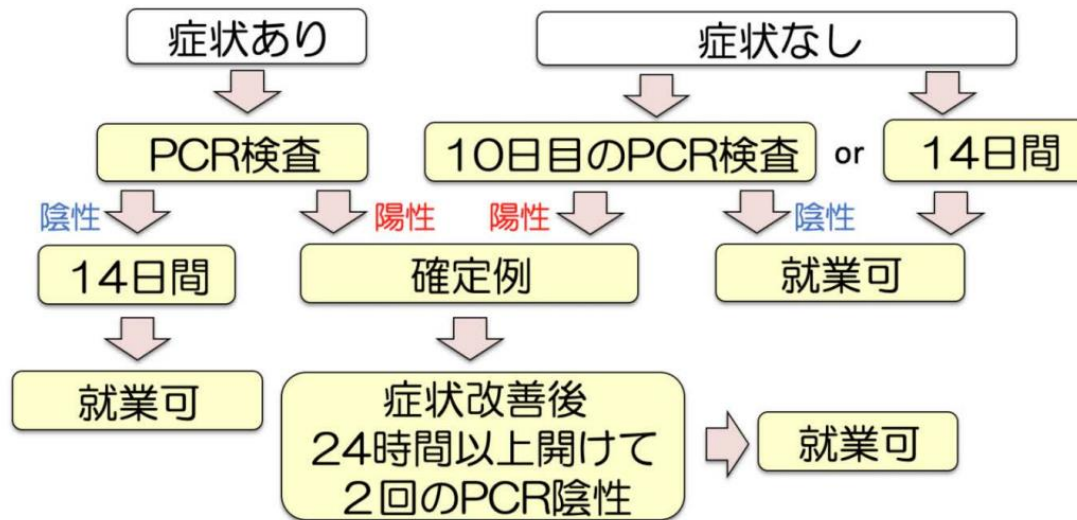
しかし、コロナ蔓延期には、応援要請に応じてもらえない可能性が高い。最低限の人員で最低限の介護を実施する。

→最低限の介護を具体的に表にする。

4 回復（日常への回復） フェーズ4

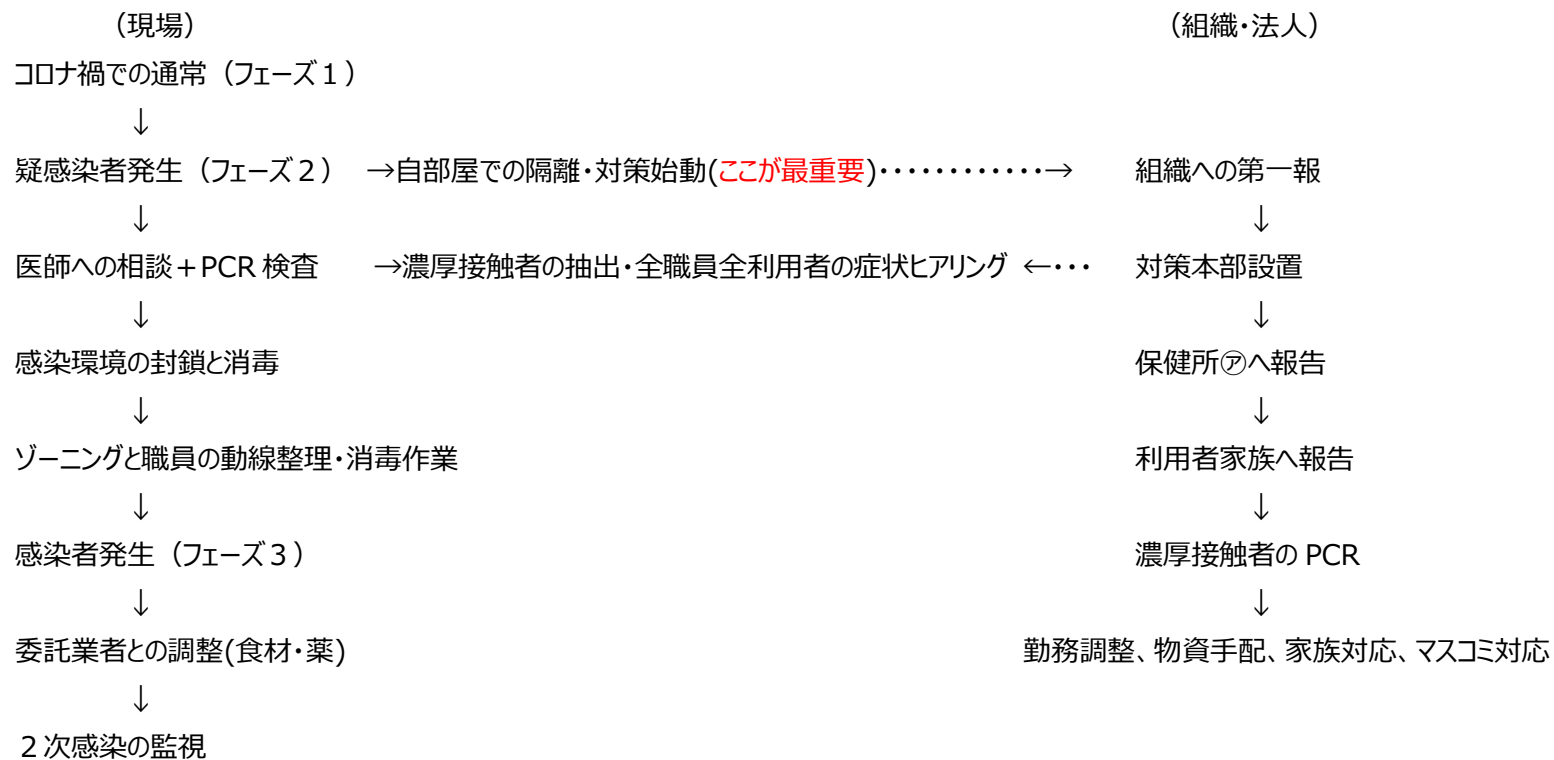
- ・自宅待機の職員は、毎日の体温と体調をメールにて対策本部へ連絡。

医療従事者のウイルス曝露後の対応



- ・北海道ペストコントロール協会の参画企業へ手配して、施設の消毒作業。（札幌市は手配してくれません）
- ・行政、保健所と連携し、感染がないことを確認して、フェーズ1に戻り通常業務再開へ。

5 初動対応フロー



⑦札幌市保健福祉局介護保険課 (事業指導担当) 011-211-2972